

地域のニーズを发掘して × あつ活サポーターと連携

あつ活サポーター団体登録制度の運用を開始してから 2 年が経ちました。令和 7 年度 7 月末時点で、今年度は 4 つの自治会が 6 件の利用をしています。利用があった自治会でのあつ活サポーターが活躍の様子を取材しました。

住吉地区自治会連合会 × 甲斐縁隊



住吉地区では春と夏に地元神社の例大祭が開催されました。今回は、あつ活サポーター団体として登録している学生ボランティア団体の『甲斐縁隊』が自治会をはじめ各種団体とともに例大祭の運営を支援しました。支援内容は、例大祭に参加してくれた方々への食事の配膳準備や子ども縁日での出店の運営補助などです。地域の皆さんからは、お祭り運営を縁の下で支えてくれるスタッフが減少してきているため、学生の皆さんのサポートは大変助かった。今後もお願いしたいとの声が聞かれました。

富士川地区・住吉地区・大里地区自治会連合会 × 株式会社フォネット & 甲斐縁隊



富士川悠遊館を起点に ZOOM を使い、住吉・大里の各悠遊館 3 か所合同でスマートフォン講座を実施しました。この 3 地区には活動拠点となる各悠遊館に Wi-Fi が導入され、地域からの要望により実施しました。あつ活サポーター団体である『株式会社フォネット』の社員に講師となっただき、住吉・大里悠遊館には、あつ活サポーター団体である『甲斐縁隊』の 2 人が補助役として参加者をサポートしました。地域からは、実用的な操作をわかりやすく教えてもらい大変役立つものだった。レベルアップした内容で次回開催を希望するなどの声がありました。

相川地区自治会連合会 × メガネスーパーアルプス通り甲府本店



相川地区では今年で 3 回目となる「相川あおぞらマルシェ」が開催されました。このマルシェは相川地区の各種団体が協力して実行委員会を作り、地域の皆さんのニーズをアンケート調査した結果、買い物支援をして欲しいとの声が多かったことから、それに応える形で開催に至った相川地区のイベントです。

このマルシェの運営に出店協力をしてくれたのは、あつ活サポーター団体である『メガネスーパーアルプス通り甲府本店』です。地域住民からは、身近な場所でお店と同じメガネのメンテナンスサービスが受けられて助かった。来年もまたお願いしたいなどの声がありました。

あつ活サポーター団体登録制度

地域活動の担い手不足を、甲府市にサポーターとして登録してくれた民間企業や学生ボランティア団体が活動をサポートする制度です。

自治会役員の皆さん、地域活動を支援する制度「あつ活サポーター団体登録制度」を活用ください。

メリット

1. イベントに新しいアイデアを注入えられる
2. 既存の活動の見直し（効率化）が検討できる
3. 自治会活動の負担軽減が図れる
4. 従来の活動を継続できる

※ 詳しくは協働支援センターまでお電話いただくか
こちらからホームページをご覧ください▶



鈴木邸活動レポート 交流会を開催



▲赤ちゃんと県立大学生による交流



▲シニアと留学生による交流

春日地区の古民家『旧鈴木邸』において世代間交流行事と国際交流行事が行われました。『赤ちゃん』と山梨県立大学の学生による交流会』と『ユニタス外語学院甲府校に通う留学生とシニアによる交流会』です。

今後は、地域住民とのランタン作りによる交流行事が予定されており、地域の商店へのランタン展示も計画されています。